

《履修上の留意事項》遠隔授業のみ実施

《担当者名》志渡 晃一（客員）

【概 要】

調査と実験の相違を踏まえて調査法を学ぶ意義を確認し、社会福祉調査の種類や方法を学習する。社会福祉調査における質的調査と統計的調査の相補性について理解を深める。

【学習目標】

- 社会福祉調査の基本的な技法を習得する。
- 統計的なものの見方や考え方に精通する。
- 調査報告を批判的に査読・吟味できる能力を養成する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	統計調査を支えるしくみ (統計法の意義とその理解)	志渡
2	概念の把握(1)	調査法概論 (調査法を学ぶ意義と目的を提示)感染症	志渡
3	概念の把握(2)	事例吟味 (調査法から結果の妥当性を吟味)疫学	志渡
4	概念の把握(3)	社会福祉調査の性格 (介入研究、実験研究などとの相違)疾病の自然史	志渡
5	概要の理解(1)	社会福祉調査の類型 (理論と技術からみた分類)貧困研究 ジニ係数	志渡
6	概要の理解(2)	社会福祉調査の方法 (量的調査と質的調査)記述疫学と分析疫学	志渡
7	概要の理解(3)	社会福祉調査の特徴 (実施に当たってのITの活用)情報科学	志渡
8	統計調査の修得(1)	記述統計;単純集計、要約統計量	志渡
9	統計調査の修得(2)	記述統計;クロス集計、相関分析	志渡
10	統計調査の修得(3)	パラメトリック検定	志渡
11	統計調査の修得(4)	ノンパラメトリック検定	志渡
12	調査事例(1)	社会福祉士・精神保健福祉士のための調査技術 (結果の抽象化と一般化)	志渡 米田 龍大(特別講師)
13	調査事例(2)	労働衛生における調査技術 (アンケート、面接など)	志渡
14	調査事例(3)	国際保健における調査技術 (ニーズ調査と支援計画設計など)	志渡 米田 龍大(特別講師)
15	総括	レポート課題の提示と評価方法の説明	志渡

【評価方法】

聴講態度20%、 レポート80%

【備 考】

教科書 : 南江堂:「シンプル衛生公衆衛生2020」:鈴木庄亮 監修、辻一郎、小山洋 編

参考書 : 南山堂:改訂6版「保健統計・疫学」:福富和夫、橋本修二

その他 : この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「社会調査の基礎」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「人間と社会」の教育内容「社会の理解」の選択科目に該当する。

【学習の準備】

高校程度の数学の基礎を復習してください。論理と集合、順列組合せと確率、社会（福祉）に関する統計指標について基礎的な理解ができるようにしておいてください。各単元について60分程度の予習と理解できるまでの復習を望みます。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,4